

2012年3月30日

 住友商事マシネックス株式会社

加社の電気炉用「エネルギー削減システム」を受注

住友商事マシネックス株式会社（以下住友商事マシネックス、本社・東京都中央区晴海、社長・那須雄次）はこのたび、愛知製鋼株式会社より、カナダの Tenova Goodfellow Inc（以下 TGI 社、本社・トロント市(※1)）の電気炉用エネルギー削減システム「EFSOP™」を受注致しました。

「EFSOP™」は、電気炉内の燃焼状況を排ガス成分の分析でリアルタイムに把握し、炉内を最適な 2 次燃焼環境にコントロールし、電力、重油、酸素などの投入エネルギーを削減、ひいては製造コストの削減を実現していくシステムです。愛知製鋼株式会社は社会・地球における環境貢献の観点から、日本で 2 基目となる同システムの導入を決定し、住友商事マシネックスが受注致しました。

このシステムでは、電気炉ダクトに取り付ける特殊プローブの実用化を通じて、取り出されたサンプリングガスから O₂、CO、CO₂、H₂ の成分をリアルタイムで分析、測定します。ガスサンプリングから測定までのスピードは、サンプリングチューブの距離によって異なるものの、約 5 秒から 20 秒と短時間で行われます。測定で得たデータに基づき電気炉の最適な燃焼環境を作り出します。

電力価格の高騰など、近年日本国内の電気炉業界を取り巻く環境は極めて困難に直面しております。このシステムの普及を積極的に推し進めることで、住友商事マシネックスは環境・省エネに貢献してまいります。

製品詳細はこちら：<http://www.smx.co.jp/jp/product/list/detail.php?eid=00017>

(※1) Tenova Goodfellow Inc 社：イタリアの鉄鋼エンジニアリンググループである、Tenova のグループ会社。

■ 本件に関するお問い合わせ

住友商事マシネックス株式会社 東京機電インフラ部 近藤

TEL : 03-5560-7289